



YANMAR

可変施肥ブロードキャスタ

MGC-PN / -WN Series

可変施肥ブロードキャスタ

適所・適量施肥で
生育ムラや肥料コストの課題を解決。

ムラなし！
ムダなし施肥！

スパウトタイプ

MGC200PN

MGC300PN

MGC451PN

MGC601PN

MGC1201PN



2スピナータイプ

MGC602WN・MGC1202WN

※ナビゲータの

EGL3100が

セットされています。

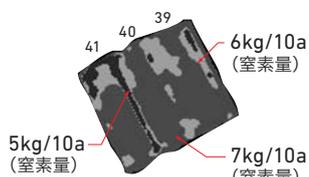


施肥量マップに応じた可変施肥ができる！

可変施肥システム

リモートセンシングからの施肥マップデータをUSBメモリからEGL3100のナビゲータ部へと入力することで、マップ情報にそった可変施肥が可能です。

USBメモリ(別売品)



ナビゲータ

アンテナ



中型ブロードキャスタ



※施肥量マップは、株式会社ファームアイのリモートセンシングデータを利用したサービスです。詳しくはお問い合わせください。

<http://www.farmeye.co.jp>



操作をラクに! 散布をより正確に!

シンプルで わかりやすい経路誘導(ガイダンス)機能

トラクター上部に取り付けたアンテナよりGPS位置情報を取り込んで、隣接走行、外周&自動均等割り走行の2パターンが選択できます。

直線走行の途中で作業を中断するときは、 「ブレークリターンシステム」

肥料がなくなるなどで作業を中断した場合は、中断した位置を記憶して、再びその位置まで誘導します。

■主要諸元

●小型ブロードキャスト

販売型式名	適応トラクター (kW[PS])	ホッパー 容量(L)	機体寸法(mm)			質量 (kg)	作業速度 (km/時)	作業幅 (m)	能力 (a/時)	PTO回転速度 (rpm)	備考
			全長	全幅	全高						
MGC200PN	9.5~22{13~30}	200	1200	1050	900	100	4~10	粒状:7~12 砂状:5~7 粉状:3.5~5	粒状:170~720 砂状:120~420 粉状:80~300	450~500	・オートタイプ (電動開閉) ・スバウト方式
MGC300PN	15~37{20~50}	300	1200	1050	1050	105					

●中型ブロードキャスト

販売型式名	適応トラクター (kW[PS])	ホッパー 容量(L)	機体寸法(mm)			質量 (kg)	作業速度 (km/時)	作業幅 (m)	能力 (a/時)	PTO回転速度 (rpm)	備考
			全長	全幅	全高						
MGC451PN	29.5~51.5{40~70}*1	450	1500	1650	900	200	4~10	粒状:7~12 砂状:5~7	粒状:170~720 砂状:120~420	450~500	・オートタイプ (電動開閉) ・スバウト方式
MGC601PN	33~59{45~80}*1	600	1600	1900	970	210					
MGC1201PN	51.5~88{70~120}*1	1200	1650	1950	1250	225					
MGC602WN	33~59{45~80}	600	1600	1900	970	245		粒状:14・18・22 砂状:8・10	粒状:340~1300 砂状:190~600	500~540	・オートタイプ (電動開閉) ・2スピンナー方式
MGC1202WN	51.5~88{70~120}	1200	1650	1250	1950	260					

*1:YT345/357/463/470/488A/498A/4104A/5113Aキャビン付き・無段変速仕様。メカ仕様を除く。

*MGC602WN・MGC1202WNのエコトラリンク対応にはオプションの「エコトラリンクAS」が必要です。 ※全長・全高の寸法は、開閉レバー部を除いた寸法です。

*全高および質量はスタンドを含んでいません。 ※散布幅は肥料の性状により変わります。 ※肥料の積載量により、トラクターにウエイトが必要になる場合があります。

*本製品は農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターが実施する「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」により開発されました。

販売型式名	備考
EGL3100	MBCシリーズ後付用シンプルガイダンスシステム ※USBメモリは、付属しておりませんのでご注意ください。

測って、調べて、収量アップ・品質アップを目指す

リモートセンシングを使ったほ場改善のご提案

リモートセンシングとは、ドローンを使って作物の生育状態を空から見える化するサービスです。

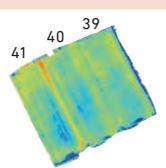
動画でも
ご覧ください。



改善の流れ

①リモートセンシング

ほ場全体を撮影して「生育マップ」を作成。

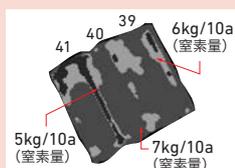


低 高

青い部分の生育が悪いなど、生育のバラつきをデータで確認します。

②施肥マップを作成

生育マップを元に、追肥マップ・基肥マップを作成。



どこにどれだけ追肥をすればいいかがわかるので、次作の施肥計画が立てられます。

③施肥量マップ連動施肥

追肥施肥の場合は無人ヘリで、基肥施肥の場合は、ブロードキャストで、生育状態に応じて施肥。



狙った位置に、狙った量を散布し、生育のバラつきを改善します。

STAR 株式会社IHIアグリテック

千歳本社

〒066-8555 北海道千歳市上長都1061番地2
0123-26-1123

www.ihico.jp/iat/

ヤンマーアグリ株式会社

〒530-0014 大阪市北区鶴野町1-9
梅田ゲートタワー

yanmar.com

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。

⚠️ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書は、ご購入の取扱店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ



この印刷物は植物油インキを使用しています。